

学校新聞で「総合的な学習の時間」を特集



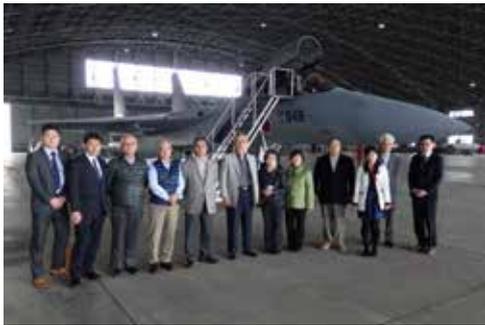
学校新聞



神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）が、昨年11月厚木航空基地において支援した、平塚市立大野中学校の「総合的な学習の時間」を特集した新聞が同所に届けられた。

新聞には、海上自衛官になるためのコースの紹介やP-3C、階級章などの説明をはじめ、体験を通じて感じたことなどが書きで丁寧にまとめられており、熱心に研修したことが伝わってくる内容であった。平塚地域事務所は、「今後も、「総合的な学習の時間」について積極的にPRし、自衛隊に対する正しい理解と、近い将来この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、誠実に支援したい」としている。

募集相談員会の沖縄部隊研修を支援



第83航空隊でF-15を見学した募集相談員

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎一陸尉）は、1月22日（木）から24日（土）の間、自衛官募集相談員等9名が参加した沖縄部隊研修を支援した。研修初日は、沖縄地方協力本部を訪問し、募集環境の変化や市街地広報の現状などを確認した。2日目は、第15旅団と第15ヘリコプター隊（陸上自衛隊）を訪問し、模型を使った沖縄戦の説明や実際に投下された不発弾、また、当時使用されていた地下壕を見学した。第83航空隊（航空自衛隊）では、平成26年12月1日現在で、約9,000人も緊急患者を搬送したUH-60やCH-47、LR-2をはじめ、領空侵犯に備え、24時間体制でスクランブル待機をしているF-15戦闘機も間近で見学することができた。

研修者は、「今回の研修で、沖縄県に所在する自衛隊の愛情と重要性について理解が深まった。今後の募集協力に活かしていきたい」と話していた。

横浜中央募集案内所は、「今後も、募集相談員会と連携を図り、より多くの方々に国防の重要性や自衛隊の必要性を訴えていく」としている。

「総合的な学習の時間」に参加した中学生から感謝の手紙



中学生からの手紙

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎一陸尉）に、「総合的な学習の時間」（1月15日横須賀地方総監部で実施）に参加した、今宿中学校（横浜市旭区）の生徒から、お礼の手紙が届いた。

手紙には、「普段できないことをたくさん体験することができました」、「自衛隊の皆様にはとても感謝しています」、「言葉では言い尽くせないほどうれしい気持ちです」、「お忙しい中、親切に様々なことを教えて下さった皆様にもよろしくお伝えください」などの感謝の言葉が綴られていた。

横浜中央募集案内所は、「今後も、より多くの学校に自衛隊の魅力を伝え、将来、生徒達が自衛官を目指してくれるよう努めていく」としている。